

■令和3年度（2021年度）薬学部入学者選抜変更点■

<学校推薦型選抜（高大接続推薦型）の導入>

1 趣旨

先進的な医薬品の研究開発を行う研究者、技術者の育成強化を大学院までの課程も含めて行うとともに、秋入学等における大学院での留学生受入れを推進するため、また、専門性の高い薬剤師の育成を強化することで、地域社会に貢献するため、学部及び大学院の入学定員を増加する。併せて高大連携を推進し、名古屋市立高等学校の優秀な人材を広く確保し育成するため、学部推薦入試を変更し、名古屋市立高等学校推薦枠を導入する。

2 学部入学定員増及び推薦入試変更による名古屋市立高等学校推薦枠の導入

(1) 入学定員増

ア 薬学科

60名→65名（5名（いずれも推薦入試B）増）

イ 生命薬科学科

40名→50名（10名（一般入試6名、推薦入試B4名）増）

(2) 推薦入試B変更による名古屋市立高等学校推薦枠の導入

ア 募集人員

推薦入試Bの募集人員の中に、名古屋市立高等学校出身者のみを対象とし、入学者選抜を先行して行う名古屋市立高等学校推薦枠を設けることとし、当該枠の募集人員は、薬学科2名、生命薬科学科2名とする。

名古屋市立高等学校出身者は、名古屋市立高等学校推薦枠の合格者とならなかった場合に、当該枠を除く推薦入試Bの合格者となることを可能とする。

イ 選抜方法

出願書類、大学入学共通テスト、面接試験の成績によることとする。